

平成22年度
補正予算の概要

(H22. 6月議決分)

1 一般会計 歳入歳出予算総括表(H22.6月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 市税	15,950,469		15,950,469
2 地方譲与税	358,000		358,000
3 利子割交付金	64,000		64,000
4 配当割交付金	16,000		16,000
5 株式等譲渡所得割交付金	23,000		23,000
6 地方消費税交付金	842,000		842,000
7 ゴルフ場利用税交付金	69,000		69,000
8 自動車取得税交付金	81,000		81,000
9 地方特例交付金	149,000		149,000
10 地方交付税	3,150,000		3,150,000
11 交通安全対策特別交付金	21,000		21,000
12 分担金及び負担金	417,400		417,400
13 使用料及び手数料	242,671		242,671
14 国庫支出金	3,691,015	5,240	3,696,255
15 県支出金	1,574,480	24,641	1,599,121
16 財産収入	148,837		148,837
17 寄附金	209	200	409
18 繰入金	816,170	63,665	879,835
19 繰越金	500,000		500,000
20 諸収入	1,915,249	300	1,915,549
21 市債	3,740,500		3,740,500
計	33,770,000	94,046	33,864,046

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 議会費	286,179		286,179
2 総務費	5,560,418	8,406	5,568,824
3 民生費	9,781,872	22,936	9,804,808
4 衛生費	1,488,715	48,346	1,537,061
5 農林水産業費	377,346		377,346
6 商工費	388,720	13,363	402,083
7 土木費	5,044,378	1,213	5,045,591
8 消防費	1,769,902		1,769,902
9 教育費	4,286,830	△ 218	4,286,612
10 災害復旧費	5		5
11 公債費	3,897,479		3,897,479
12 諸支出金	858,156		858,156
13 予備費	30,000		30,000
計	33,770,000	94,046	33,864,046

補正予算のポイント

今回の一般会計補正予算は、第2回定例議会(平成22年6月)において、既定の歳入歳出予算にそれぞれ9404万6千円を増額し、予算総額を338億6404万6千円としました。今回は、少子化対策の充実に関するもの、国の制度改正・県の補助事業に対応するもの、また安全安心対策の強化に係るものや必要性の高いもの、緊急性の高いものの補正を行いました。

以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

●取手駅駅前窓口移転事業・・・440万6千円増(取手支所)

取手とうきゅうが8月末で閉店されることにより、7階にあります駅前窓口コーナーを、とうきゅう駐車場ビル1階に移転します。

●市役所議会棟耐震補強事業・・・400万円増(管財課)

議会棟1階ピロティー部分の耐震強度を示すIS値が0.16であるとの診断結果を受け、1階部分の耐震補強実施設計を委託します。

●お休み処改修事業・・・380万円増(高齢福祉課)

成熟した高齢社会をむかえ、高齢者の孤独や引きこもりを防止し、地域の人々が気軽に立ち寄れる喫茶スペースを設置するため、戸頭地区お休み処の室内改修工事を行います。

●乳幼児医療助成制度事業・・・1913万6千円増(国保年金課)

乳幼児医療助成制度は医療費の経済的負担の軽減を図ることにより、小児疾病の早期発見・早期治療を促進し健康の保持及び健全育成を図ることを目的としていますが、県が22年10月から対象を未就学児までから小学校3年生まで拡充することに伴い、これに合わせた拡充を行います。

●日本脳炎定期予防接種事業・・・3592万3千円増(保健センター)

厚生労働省の通知により、安全性や供給実績からこれまで希望者のみに行ってきた予防接種を積極的に推奨するための経費を計上します。

●女性特有のがん検診推進事業・・・1065万8千円増(保健センター)

乳がん検診及び子宮がん検診のがん検診の検診率が低いことから、促進を図るためクーポン券を発行し、がんの早期発見に努めます。

●雇用創造事業・・・1336万3千円増(産業振興課)

雇用失業情勢が厳しい中で成長分野として期待されている分野に新たな雇用機会を創出するとともに、地域のニーズに応じた人材を育成し、雇用に結びつけるという趣旨で創設された県補助金である「重点分野雇用創造事業」を活用し失業者を雇用し、地域資源ブランド化事業、市内企業支援活性化

事業を行います。

【歳入】

●財政調整基金繰入金 …… 5586万円増(財政課)

今回の補正予算の財源調整により, 5586万円を取り崩して対応します。

●国庫補助金…524万円増(保健センター)

女性特有のがん検診推進事業として, 事業費の2分の1の補助を計上します。

●県補助金…2464万1千円増(国保年金課・保健センター・産業振興課)

乳幼児の医療福祉費補助金として, 事業費の2分の1の951万3千円, 地域自殺対策緊急強化事業補助金として176万5千円, 緊急雇用創出事業補助金1336万3千円の県補助金を計上します。

2 介護保険特別会計 歳入歳出予算総括表(H22.6月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 介護保険料	1,185,131		1,185,131
2 使用料及び手数料	85		85
3 国庫支出金	874,273		874,273
4 支払基金交付金	1,380,809		1,380,809
5 県支出金	685,004		685,004
6 財産収入	1,567		1,567
7 繰入金	733,089		733,089
8 繰越金	25,000	5,500	30,500
9 諸収入	86		86
計	4,885,044	5,500	4,890,544

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 総務費	175,173		175,173
2 保険給付費	4,560,870		4,560,870
3 地域支援事業費	122,000		122,000
4 諸支出金	7,001	5,500	12,501
5 予備費	20,000		20,000
計	4,885,044	5,500	4,890,544

補正予算のポイント

今回の介護保険特別会計補正予算は、第2回定例議会(平成22年6月)において、既定の歳入歳出予算にそれぞれ550万円を増額し、予算総額を48億9054万4千円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳入】

- 前年度繰越金…550万円増(高齢福祉課)
平成21年度の繰越金を増額計上し、国庫金等返還金に充当し清算します。

【歳出】

- 国庫金等返還金…550万円増(高齢福祉課)
平成21年度地域支援事業支援交付金(支払基金)について、超過額が生じたため、国庫金等返還金を計上します。